

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年10月21日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

|       |                            |         |              |
|-------|----------------------------|---------|--------------|
| 団体名   | 紫波町図書館                     | 代表者名    | 鎌田 千市        |
| 担当者部署 | 紫波町企画課                     | 連絡先電話番号 | 019-671-3746 |
| 担当者役職 | 事務局長                       | 担当者氏名   | 俵 正行         |
| 住所    | 028-3318 岩手県紫波町紫波中央駅前2-3-3 |         |              |

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー                      | 山崎 博樹   |
| 評価                          | 大変よい  |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 地域資料デジタル化(デジタルアーカイブ)に関する理論と実践について、豊富な経験に基づき初歩から応用まで当館司書の疑問に、的確に答えるかたちで対応いただいたことによる。 |
| アドバイザーへの要望事項                | 次回訪問時に、当館の全職員を対象とした「地域資料デジタル化に関する学習会」を開催して欲しい。                                      |

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

|           | 派遣日         | 開始時刻                             | 終了時刻   | 内休憩時間(分)   | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|----------------------------------|--------|------------|---------|
| 3-1. 活動   | 2020年10月16日 | 14時30分                           | 19時00分 | 30         | 240     |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名         | 紫波町図書館                           |        | 最寄駅        | 紫波中央駅   |
|           | 所在地         | 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-3 オカールプラザ中央棟内 |        | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩(3分)  |
|           | 派遣形態        | 支援・助言(実地)                        |        |            |         |

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

|      |   |
|------|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|---|

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |  |          |
|--|--|----------|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】<br>図書館主任司書(2人)、事務局長  | 人数<br>3人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | <p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>デジタル化事業の実施に当たり、当館では知識・経験・技術など必要とされるスキルの蓄積が無く、外部からアドバイザーを招へいすることにより、先の課題を克服し円滑な事業の実施を目指している。また、システム構築後の有効活用と住民を巻き込んだ持続可能なシステム活用方針を策定し、将来にわたって活用される仕組みの検討・構築を志向している。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今まで取組みが為されてこなかった図書館所蔵地域資料のデジタル化を推進し、時代の要請に沿ったかたちで新年度からデジタル画像公開システムを稼働させ、非来館型のサービス充実を図ることとしている。この事業実施に向け、デジタルアーカイブの基礎知識や整備・運用に伴う技術的アドバイスとともに、将来を展望したシステム活用方針の策定等に指導・助言いただき、持続可能なシステムの構築を目指す。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>1)メタデータ作成等:第1回の説明・実習(メタデータの役割・定義等の説明、データ作成演習)の振り返りを行い、理解到達度の確認と定着を図る。先進事例の長野県立図書館のメタデータ分類項目を参照し当館の公開システムで必要とされる分類項目に関し、意見交換を通じ具体的な絞込みに着手する。(150分)<br/>2)デジタルアーカイブ・オンライン説明会:講師が理事を務める知的資源イニシアティブの協力により、アーカイブの概要と先発の高知県立・長野県立両図書館の公開システムに接続し、オンラインでそれぞれの操作性、特徴(クリエイティブ・commons、コピーライト等権利関係)などの解説を受ける。(90分)</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>1)懸案だったメタデータ(配信画像コンテンツ説明・分類用文字情報)の作成について、方向性が定まり年内の作成に向け職員間の意思統一ができた。<br/>2)先進のデジタルアーカイブについて、オンラインによる解説付きで視聴することができ、利用者が必要とする地域資料にたどり着くまでの検索方法(メタデータ分類項目)の多様性、著作権等の権利関係に伴う取決め(二次利用の可否など)などについて、更に理解を深めることができた。また、今後のシステム拡張などに対する貴重な示唆を得ることができた。</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容<br/>持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>次回(最後)の派遣事業による訪問日程について、業者委託している公開システム(公開資料の17タイトル[1,213頁]分の画像撮影は10月2日で完了し、今回10/16その一部をJPEGに変換したデジタル画像によりPC上で確認する。)と当館で作成するメタデータの進捗状況に応じて、日程調整を行い後日アドバイザーと推進協会事務局に連絡することにする。</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(ExcelやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>5-3. 今後の計画</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する</p> <p>事業の最終的な目指す姿</p> <p>当館所蔵の地域資料(寄贈資料集、絵図面など)に係る画像配信システムの今年度末までの構築。公開システム整備・活用方針(新年度以降、デジタル化を進める地域資料の選定。システムを利活用するために必要な諸課題等について、予め対応方策等を明示し持続可能な運用が図られるよう方針を定める。)の策定。</p> |          |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

